

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-03-01-08
事務事業名	かき海道浸透事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	H19～(H18以前は水産業で実施)	問合せ先	担当課(室) 商工観光課 職・氏名 観光係長 山台 智子 電話 64-1832(274)
総合計画	大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目 基本施策	個性あふれる観光のまちづくり	
	小項目 施策	観光	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光客・市民
目的(何のために)	かきをメインにした観光・地域活性化事業を実施、支援することにより、市民融和及び観光客の動員を図る。
行政活動(どのような方法で)	ひなせかき祭の開催、かき海道浸透事業やJR赤穂線沿線地域活性化事業を通じて、特産品のカキを全国にPRする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	イベント集客数の増加

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	イベント(かきまつり)	回	1	1	1	
	イベント集客数	人	40,000	40,000	40,000	
	ひなせかき祭補助金	千円	-	-	800	
	かき祭り事業	千円	2,245	2,169	-	
		千円				
	事業費	直接事業費		2,245	2,169	800
		人件費	千円	929	687	2,129
		事業費計		3,174	2,856	2,929
	財源	国県支出金		1000	1000	
受益者負担		千円	150	150		
一般財源			2,024	1,706	2,929	
必要人員	人	0.13	0.12	0.34		
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	イベント(かき祭り)	説明				
	結果指標量	回	1	1	1	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	3,174,000	2,856,000	2,929,000	
単位当たりコスト	円	3,174,000	2,856,000	2,929,000		
結果指標	イベント集客数	説明				
	結果指標量	人	40,000	40,000	40,000	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	3,174,000	2,856,000	2,929,000	
	単位当たりコスト	円	79	71	73	

事業の成果			
成果指標名	イベント集客数	式又は説明	ほぼ前年どおりの集客数
		17年度	18年度
成果指標量	40,000	40,000	40,000
対前年比		100.0%	100.0%
到達目標値	42,000	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	日生的かきを中心に備前地域の水産物のPR及び市民融和、誘客に必要な事業であるが、かきのPRは概ね浸透してきている。	
	事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	対象を見直す必要がある	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	市民、団体などから要望・要請の強い事業である	本市が関与しなければならない事業である	
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
市民ニーズ	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	C
	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
市の関与	サービスを下させずにコストを低減することは困難	イベントは相当の観客動員が図れている。経費も市が直接行っていたが、実行委員会形式にすることで、かき祭り経費を大幅に削減することができた。今後もコスト削減に努め効率的な事業実施を目指す。	
	受益者負担額を見直す余地がある		
コスト	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	
	最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
効率性の評価	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	事業に関するOJT(職場研修)は行われている	
	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
職場	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	事業実施に、職員の意見・要望が反映されやすい	C
	成果指標は前年度より向上している		
目的達成度	成果は向上しており今後も向上する見込みである	今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	事業について積極的に情報提供している		
成果向上の可能性	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	イベントは相当の観客動員が図れている。また、県際交流事業として兵庫県、岡山県の特産品販売により相互の交流が図れた。
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
有効性の評価	市民参画度		
	市民参画度		

平成20年度の状況		説明	日生的かきは知名度が高く、特に今シーズンはカキオコの爆発的人気により誘客につながった。またカキ祭りのりレー開催など積極的活動を続けている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 41,000	結果指標量	
成果指標量		42,000	

総合評価		評価区分<A-E>	C	
日生的かきは知名度が高く、特にカキオコ人気により誘客につながった。今後も、冬期限定の産地ブランドとして推進していきたい。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらなる重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事業費の見直し	随時	経費節減